

苫小牧市教育委員会会議録

会議区分	苫小牧市教育委員会 第 4 回 定例委員会
日時	平成27年4月24日 自 15時00分 至 15時44分
場所	市役所本庁舎第2委員会室
出席委員	委員長 上原 毅 委員 佐藤 郁子 委員 佐藤 守 委員 植木 忠夫 委員 和野 幸夫
欠席委員	
会議録署名委員	佐藤 守 委員
会議録作成職員	総務企画課総務係主事 前田 亜矢子
事務局職員	教 育 部 長 松 浦 務 教 育 部 次 長 荒 物 屋 貢 一 総 務 企 画 課 長 釜 田 直 樹 指 導 室 指 導 室 長 中 川 恵 介 指 導 室 指 導 主 事 仲 見 真 樹 指 導 室 指 導 主 事 河 毛 幸 至 総 務 企 画 課 総 務 係 長 下 濱 辰 哉 総 務 企 画 課 総 務 係 主 事 前 田 亜 矢 子
会議案件	別紙のとおり
会議の経過概要	別紙のとおり

1 委員会開会の宣言（上原委員長）・・・15時00分
2 会議録署名委員の指名（佐藤守委員）
3 会議録の承認
（上原委員長） 第3回定例教育委員会（平成27年3月23日開催）の会議録について、何か質疑ございますか。
（一同「なし」の声）
-会議録どおり承認-
4 教育長の報告
（教育長） 第3回定例教育委員会以降の行事などについて報告をさせていただきます。
初めに、総合教育会議への出席ありがとうございました。第1回の会議の開催によりまして、総合教育会議が設置されたこととなります。今後、協議いただきました要綱により会議を開催することとなりますので、よろしくお願いいたします。
行事についてであります。3月31日、4月1日、4月2日の3日間で平成27年度の退職辞令、異動辞令、採用辞令など160件の交付を行っております。昨年は組織機構改革に伴う職員異動の辞令もあり199件の交付でありましたが、今年度も同様に、若干少なめではありましたが、多くの方が教育委員会を去り、また多くの方を迎え入れ、新しい体制でスタートしたところでございます。

<p>4月7日から8日にかけて、教育委員におかれましては、各小学校への入学式に参列をいただきました。ありがとうございます。</p>
<p>4月8日に胆振管内教育長会議が胆振教育局で開催され、篠原胆振教育局長より「管内教育推進の重点」が説明されております。大項目では、「社会で生きる実践的な力の育成」として、胆振の重点として、岩井義務教育指導監や指導主事の学校訪問の充実、小中連携・一貫教育や、土曜授業を通じた教育環境の充実促進などによる「すべての授業の質的向上」、ほかに「望ましい生活習慣と学習習慣の確立」、そして「特別支援教育の充実」が重点になっております。大項目の2つ目は、「豊かな心と健やかな体の育成」であり、この項目では、いじめ防止基本方針に基づく学校、家庭、地域、関係機関の連携強化による「いじめ問題への対応」、苫小牧市の取組が紹介されましたが、「体力向上について」、そして「道徳教育の充実」が胆振の重点として位置づけられております。大項目の3つ目では、「信頼される学校づくりの推進」として、「服務規律の徹底」、「教職員の資質・能力の向上」が重点になっております。大項目の4つ目は「地域全体で子どもを守り育てる体制づくりの推進」、重点はPTA研修、「子ども朝活事業」などの場を利用した保護者への学習機会の提供など、「家庭教育への支援」が重点となっております。5つ目としては、「北海道らしい生涯学習社会の実現」として、文化財パトロールの実施など社会教育に対する取組も示されております。</p>
<p>4月13日に、生涯学習関連の事業であります「苫小牧市長生大学入学式及び始業式」が開催され、63名の方に新たに入学を許可したところでございます。多くの皆さんが元気に学生生活を過ごしていただきたいと祝辞を述べ、また、多くの在校生の皆さんも出席され、満員の会場でありました。</p>
<p>同じく、4月13日に転入校長先生、24日に転入教頭先生の研修会を開催しております。17日には第1回の教頭会議が開催され、私から平成27年度苫小牧市教育行政執行方針の説明と個人情報管理、交通事故についてお話をさせていただきました。</p>

<p>4月16日には、「平成27年度第41回苫小牧市教育研究会定期総会」が錦岡小学校で開催されております。学校教育では、児童生徒一人ひとりに基礎学力を確実に定着させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力を身につけさせるとともに、主体的に学習に取り組む態度を育てることが求められていることと、先生方には、常に学び続ける向上心を持っていただき、授業力向上のために本研究会を位置づけていただきたいとお話させていただきました。</p>
<p>次に、高校適正配置計画胆振東学区の会議が、4月16日に市民会館小ホールで開催されております。会議では、平成29年度までの現計画と平成30年から34年までの見込みが示されております。苫小牧市内では、平成31年に103名の中学卒業生の減が見込まれており、苫小牧市やその周辺で調整が必要になるとの見解も示されております。また、質疑の中では、国の地方創生と公立高校の地域に対する位置づけ、現在の調整方法に対する将来的な見通し、私立高校からは、公立高校の間口減の要望が出ておりました。北海道教育局からは、「喫緊の課題である」、「地域の実情や特色に基づいた学校環境づくりを行う」、「地域の影響は考慮するが、教育水準の維持向上も大切であり、意見交換は行う」などの回答がありました。</p>
<p>質疑では毎回、町の教育委員会からは町の活性化の観点から公立高校の間口維持や存続を求める意見が出されますし、教員団体からは学級定数を下げることで学校体制の存続が求められ、市内の私立高校からは苫小牧市内の公立高校の間口の削減をという意見が出されます。それぞれの立場での意見であります。一方、市内の保護者から、親の気持ちとしては学力レベルの高い高校は減らしてほしくないという意見がある反面、学級減の方が切磋琢磨できるので質が向上するという見方をする人もおり、いろいろな意見や利害が絡んでおり、難しい判断を要する課題であると感じているところでもあります。</p>
<p>次に、4月17日に苫小牧民報社から苫小牧市立図書館への図書寄贈と、寄付に対する感謝状の贈呈を行ないました。昭和55年より36回目、2,900冊を超える寄贈をいただいております。</p>

以上、報告とさせていただきます。
平成27年度、新教育委員会制度の部分施行と教育部も新しい体制でスタートいたしました。多くの教育的課題について、委員長を初め、各教育委員の皆様と「ほうれんそう」を柱に共通認識のもとに課題解決を図りたいと考えております。今後ともよろしく願いをいたします。
(上原委員長) 何かご質問等ございますか。
(一同「なし」の声)
5 議 案
第1号 とまこまい学びの3か条について
(指導主事) ーとまこまい学びの3か条についての説明ー
(上原委員長) 質疑に付します。何かございますか。
(佐藤守委員) 1つだけいいですか。「めざせ！うちガクマスター」ということで、1番目のゲーム・スマホのところだけ「うちガク」という言葉が使われない文面になっていますが、何か意味があるのでしょうか。
(指導主事) 3点ございまして、1点目の視点は、生活習慣の改善を目指してつくっているものでございます。そうしたことから、「うちガク」、つまり家庭学習をするために、まずはきちんと生活習慣を改善することをねらいとしているので、ここでは書いておりません。
(佐藤守委員) ありがとうございます。
(上原委員長) ほかにございますか。それでは質疑がないようですので、原案どお

り決定することによろしいでしょうか。

(一同「はい」の声)

—原案どおり決定—

第2号 教職員の処分について (内申・報告)

(上原委員長) 人事案件等でございますので、教育委員会会議則第21条の規定によりまして秘密会としたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(一同「はい」の声)

—原案どおり決定—

6 協 議

(上原委員長) 協議事項等お持ちの方はいらっしゃいますか。

(一同「なし」の声)

7 そ の 他

(1) 平成27年度苫小牧市体力向上プラクティスプランについて

(指導主事) -平成27年度苫小牧市体力向上プラクティスプランについての説明-
(上原委員長) それでは質疑に付します。何かございますか。
(佐藤郁子委員) 運動習慣の環境づくりなのですが、中休みや昼休みを活用した運動プログラムというのは、授業推進委員会などが中心となってまずはつくるのでしょうか。それとも、合同でたたき台というか案をつくるのでしょうか。各学校によって規模も違うと思いますが、大体どのようなものを考えていらっしゃるか、教えていただければと思います。
(上原委員長) 答弁をお願いします。
(指導室長) 運動プログラム自体は、昨年度苫小牧市教育研究所の体力向上研究委員会で作成いたしまして、既に各学校に示しております。それらに基づきまして、体育の授業だけではなく子供たちがグラウンドや体育館を使って運動できる時間帯、すなわち中休み・昼休みあたりに、こうしたものを子供たちが自主的に取り組んで運動するような、例えばボールを使うですとか、2人1組で体を動かしたりですとか、積極的に取り入れていくということですから、そういうことを考えると、やはり学校が児童・生徒の実態に応じて取り組んでいくと考えています。
(佐藤郁子委員) ありがとうございます。
(上原委員長) ほかにございますか。
(佐藤守委員) 今の関連もあるのでしょうかけれども、新体力テストの実施器具等を常設する環境整備ということなのですが、これは、いつでも子供たちが昼休み時間とかそういう時間に使えるようにするのか、それともどのような形で使わせるようなことを考えているのでしょうか。
(上原委員長) 答弁をお願いします。
(指導室長) 例を挙げますと、体育館に反復横跳びの3本のラインを常設で引いておいて、子供たちが遊び感覚で休み時間に取り組めるようにするですとか、あるいは教室の廊下に握力計を置いておきまして子供たちが触れて試してみるですとか、日常の学校生活の中で、身近に子供たちが新体力テストの器具や、新体力テストの実施種

目に触れることができるような環境整備をしておくということでございます。
(佐藤守委員) ありがとうございます。
(上原委員長) ほかにございますか。それでは、ほかに質問等ないようですので、質疑を終結いたします。
(2) 苫小牧市教育委員会事務局の組織等に関する規則等の一部を
改正する規則について (報告)
(部長) -苫小牧市教育委員会事務局の組織等に関する規則等の一部を改正する規則についての報告-
(上原委員長) 質疑に付します。何かございますか。質問等ないようですので、質疑を終結いたします。
(3) 教育委員会職員の人事異動に係る協議について (報告)
(部長) -教育委員会職員の人事異動に係る協議についての報告-
(上原委員長) 質疑に付します。何かございますか。ないようですので、質疑を終結いたします。その他、何かお持ちの方いらっしゃいますか。
(一同「なし」の声)
8 委員会閉会の宣言 (上原委員長)・・・15時44分